

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 27週

集計期間 6/30-7/6

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症														
咽頭結膜熱		1			3	3								7
溶連菌感染症					1	3	1		2	2		1		10
感染性胃腸炎	1	7	6	8	4	8	9	2	1	7	5	12	1	71
水痘		1				1			1	1				4
手足口病			1			1								2
伝染性紅斑					1			1			1			3
突発性発疹		1	1	1										3
百日咳														
ヘルパンギーナ		1	1		1		1							4
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu														
小児科定点総数 104 増減 -22 前週比 82.5% 定点当たり 17.3														
病院:開業医 1:103 増減 -11:-11														
内科Flu														
インフルエンザ総数 増減 0 前週比 ?% 定点当たり														
小児科:内科 0:0 増減 0:0														

総数104、前週の82.5%と減少です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比109%、定点当たり10.8と、やや増加です。

2位は、溶連菌感染症、前週比38%、定点当たり1.6と、半減以下です。

3位は、咽頭結膜熱、前週比77%、定点当たり1.2と減少です。

以下は、全て、定点当たり1未満で少数ですが、

水痘は、前週比26%、定点当たり0.7と1/4に減少、

ヘルパンギーナが4名、手足口病が3名、伝染性紅斑が3名報告されています。

内科も含むインフルエンザ、6週続けて0です。

7/6の小児科休日当番は、来院数79名と、割と多めでしたが、咳、鼻水、熱の、いわゆる「風邪」の子が多く、特に流行性のものは目立たなかったようです。

溶連菌と咽頭結膜熱が減少し、ヘルパンギーナと手足口病が始まって、

局所的に伝染性紅斑が流行中という状況です。